

【沖縄県】

「令和5年度実施沖縄公立学校教員候補者選考試験」より

問題

(2) 国家の領域と領土問題についての記述として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 領海基線から200海里までの海域（領海を除く）を排他的経済水域といい、沿岸国が海底資源や水産資源を利用する権利が認められている。
- ② 日本の領海と排他的経済水域の合計は約447万km²で世界第1位である。
- ③ 人為（数理）的国境の例として、エジプトとリビアの北緯22度、エジプトとスーダンの東経25度の経緯線が用いられている。
- ④ 北海道の北東部にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島が北方領土とよばれ、日本は北方領土と千島列島の返還を求めて、ロシアと交渉を続けている。
- ⑤ 南アジアのカシミール地方では、インドとバングラデシュ間で、領土をめくり現在も武力衝突が起きている。

解答

大問3 (2) ①